

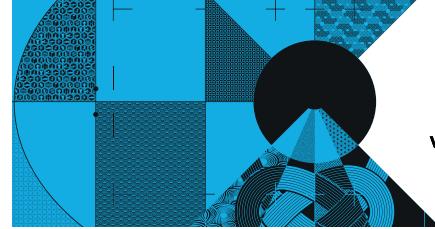


URUGUAY

ウルグアイ

前回プール5位/世界ランキング17位
*2019年1月7日現在

TEAM PROFILE



HISTORY

歴史

白と水色を基調としたジャージー。ウルグアイ代表は愛称ロス・テロスとして親しまれる。

およそ340万人の人口で競技登録者は約9000人。決して多いとは言えないが、国内でサッカーに次ぐ2番目の座を他の競技と争う。長い歴史を持つクラブも多い。

1999年のラグビーワールドカップで参加チーム数が16から20に増えたことで、同国は南米大陸から2か国目の出場チームとなることができた。さらにその大会ではスペイン代表から記念すべき初勝利も挙げている。

2007年大会、2011年大会への出場を逃したことから、ウルグアイ協会は2012年にモンテビデオ郊外に強化拠点を設けた。その成果で2015年大会に出場。国内の熱もふたたび上昇中だ。

1972年に起きた飛行機事故で、『アンデスの奇跡』として知られ映画にもなったストーリーがある。その事故の当事者となったのが同国のオールド・クリスチャンズ・クラブの選手たちという話だ。

ROAD TO RWC 2019

近年の足取り

2019年大会への出場権は2月3日に手にした。前週のカナダ代表とのアメリカ地区第2代表をかけたプレーオフ第1戦(カナダ・バンクーバー)に38-29で勝ったウルグアイ代表は、首都モンテビデオで第2戦を迎える。その試合を32-31で制し、2大会連続4回目のラグビーワールドカップ出場を決めた。

その第2戦、10点差以上の勝利を手にすれば総得失点での逆転切符獲得となるカナダ代表は序盤に得点を重ねたが、1万4000人収容のエスタディオ・チャルーアを満員にしたサポーターから声援を受けたウルグアイ代表は巻き返した。

ジリジリと差を詰めると、後半に入って接戦に持ち込む。残り10分を切った時点でもカナダ代表にリードを許していたが、後半33分に逆転トライ。そのまま逃げ切った。

世界への扉を開いた瞬間の光景は感動的だった。選手たちは歓喜の抱擁を交わし、サポーターたちからはあたたかな声援。同国ラグビー界に一体感が生まれた。

STYLE

戦力とプレースタイル

2019年大会ではオーストラリア、ウェールズ代表、ジョージア代表、フィジー代表と同じプールDに入ることになった。強豪国が揃うだけに、さらなる強化が不可欠だ。

伝統的にスクラムに自信を持つチームは、本大会出場権獲得後も継続的に前進を続けている。その舞台となっているのがアメリカズ・ラグビー・チャンピオンシップだ。アルゼンチンXV(選抜)、アメリカ代表、カナダ代表、チリ代表、ブラジル代表と戦う大会で、今季のウルグアイ代表は開幕4戦で3勝1敗(全5戦)。安定した力を出している。

期待されるのは2017年シーズンにウルグアイ人として初めてスーパーラグビーのジャガーズ(アルゼンチン)と契約したニコラス・フレイタスだ。カナダ代表とのプレーオフ2試合にもWTBとして出場。24歳すでに22キャップだ。

フレイスタ以外にもフランスでプレーする選手たちが数人いる同代表。個々と組織を計画的に高め、2019年大会での飛躍を目指す。

FACT FILE

協会創立▶1951年
エンブレム▶テロ(鳥の一種)
チームネーム▶Los Teros ロス・テロス
ウェBSITE▶http://uru.org.uy/

/UnionRugbyUruguay
 @RugbyUruguay
 @uru_oficial

RWC RESULTS

1987	出場せず
1991	出場せず
1995	出場せず
1999	プール戦敗退
2003	プール戦敗退
2007	出場せず
2011	出場せず
2015	プール戦敗退

HEAD COACH

エステバン・メネセス
Esteban Meneses



2015年のワールドカップ終了後、新たなコーチングチームを組んだときに現職に就いた。アルゼンチン協会とパートナーシップ契約を結んでいるウルグアイ協会。メネセス ヘッドコーチを推薦したのも、アルゼンチン代表の指揮を執るダニエル・オルカデ ヘッドコーチだ。アルゼンチン国内で実績を重ねるなど経験豊富なメネセス ヘッドコーチ。アメリカズ・ラグビー・チャンピオンシップでは'16年=4位、'17年=3位と少しずつチームを上昇させている。

PLAYERS TO WATCH

FL

ファン・マヌエル・ガミナラ
Juan Manuel Gaminara



2010年のルーマニアで初キャップを獲得して以来、チームのFW第3列として攻守に大きく貢献してきた。2015年のラグビーワールドカップでも4試合すべて

に先発した。175cmと小柄も、闘志あふれるプレーでリーダーシップあり。主将として周囲に信頼される存在。

SO

フェリペ・ベルチェシ
Felipe Berchesi



1991年、モンテビデオ生まれ。現在はフランスのダックスに所属。イタリアでプレーしたこともある。海外での経験も豊富なチームの司令塔。2015年のラグビーワールドカップでも3試合に出場した。飛距離あるキック力も魅力で、自陣からPGを決めたこともある。

RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

▼ オーストラリア代表

● 3 - 65 RWC2015 (POOLA)

▼ ウェールズ代表

● 9 - 54 RWC2015 (POOLA)

▼ ジョージア代表

○ 24 - 12 RWC2003 (POOLC)

▼ フィジー代表

● 15 - 47 RWC2015 (POOLA)

チケット販売中

ラグビーワールドカップ2019™日本大会公式チケットサイト tickets.rugbyworldcup.com

TM© Rugby World Cup Limited 2015